

タケウチホソハナカミキリ *Strongalia takeuchii* Matsushita et Tamanuki

【選定理由】

自然度の高い森林中に生息するカミキリムシで、県内では設楽町の原生林のみから知られている。最近の生息情報は極めて少ない。

【形態】

体長 11~15mm。細長い中型のハナカミキリ。前胸背は黄色で、2本黒色の縦筋がある。上翅は黒色で、3本の黄色の帯がある。

【分布の概要】

【県内の分布】

県内では設楽町（蟹江ほか、1977；竹内ほか、1980）のみから知られる。

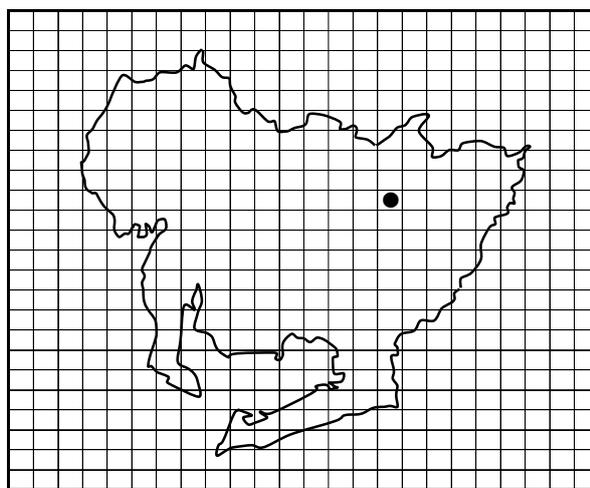
【国内の分布】

北海道、本州、四国に分布する。

【世界の分布】

日本の特産種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

自然度の高い森林に生息し、生息地の大半は太平洋型のブナ林である。成虫は7~8月に出現し、ノリウツギやリョウブ、ツルアジサイなどの花に飛来する。幼虫の寄主植物はモミ、ミズバイが知られている。

【現在の生息状況／減少の要因】

1980年代までは、少ないながらも生息情報がもたらされていたが、1990年代以降の生息情報は断片的なものしかない。ブナ原生林の減少と林内の乾燥化の影響が考えられる。

【保全上の留意点】

生息域であるブナ林の面積をこれ以上減少させないことが必要である。現在の原生林の環境を守るため、特に原生林に接する道路では、林縁の過度な伐採や枯れ木の伐採は、林内への乾燥化をもたらす生息環境を奪う危険性が高く、慎重な配慮が必要である。

【特記事項】

設楽町には本県には珍しいモミ・ツガの群落が知られている。本種はその原生林内ではモミを寄主植物として利用していると考えられ、この原生林を代表する昆虫の一つと位置づけられる。

【引用文献】

蟹江 昇・竹内克豊・今瀬雅行, 1977. 名古屋昆虫同好会奥三河採集会一カミキリの記録一. 佳香蝶, 29 (111): 34-35.  
竹内克豊・原田猪津夫・松野更一, 1980. 愛知県北設楽郡のカミキリムシ. 愛知県豊根村の動物: 231-285.

【関連文献】

湯沢宣久・蟹江昇・河路掛吾・竹内克豊, 1990. 愛知県のカミキリムシ科. 愛知県の昆虫, (上): 389-433. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)